

作成日 2023/05/30
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 水性パーキングラインカラー塗料 道路線引き用
注文コード 53102736・53102745・70752395
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
推奨用途 家庭用塗料
整理番号 M230530

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 発がん性 区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器)
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険
危険有害性情報 H351 発がんのおそれの疑い
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害

注意書き
安全対策 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
応急措置 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
保管 施錠して保管すること。(P405)
廃棄 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
その他	50～60%	不明	不明	不明	不明
水	30～40%	H2O	不明	不明	7732-18-5

酸化チタン(Ⅳ)	10～20%	TiO ₂	(1)– 558,(5)–	既存	13463-67-7
----------	--------	------------------	------------------	----	------------

4. 応急措置

吸入した場合

蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

付着物を布にて素早く拭き取る。
大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には、医師の診断を受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
まぶたの裏まで完全に洗うこと。
直ちに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水
炭酸ガス
泡
粉末
乾燥砂

使ってはならない消火剤 特有の消火方法

情報なし
このものには可燃性はない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置

作業の際には、適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
周囲を立入禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。
屋内では換気をしっかり行う。

環境に対する注意事項

河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法 及び機材

漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い		換気の良い場所で取り扱う。 容器はその都度密栓する。
	技術的対策	現在、知見なし
	安全取扱注意事項	取扱い後は手・顔等を良く洗い、休憩所等に手袋などの汚染した保護具を持ち込まないこと。
保管		日光の直射を避ける。 通風のよいところに保管する。 盗難防止のために施錠保管する。 子供の手の届かないところに保管する。 0℃以下になる場所に保管しないこと。
	安全な容器 包装材料	現在、知見なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
酸化チタン(IV)	未設定	0.3mg/m ³ ;【暫定値】総 粉塵2mg/m ³ 吸入性粉 塵1.5mg/m ³	TWA 0.2 mg/m ³ (R), STEL - ;TWA 2.5 mg/m ³ (R), STEL -
水	未設定	未設定	未設定
その他	未設定	未設定	未設定

設備対策		特別に必要なない。
	呼吸用保護具	防塵マスクを着用する。
保護具	手の保護具	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
	眼、顔面の保護具	顔面用の保護具を着用すること。 取扱いには保護メガネを着用すること。
	皮膚及び身体の 保護具	取り扱う場合には、皮膚を直接暴露させないような衣類を着けること。 また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
形状	粘濁液体
色	白色
臭い	微臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点 範囲	100℃(参考値)
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限 下限 界／可燃限界	データなし
	上限
引火点	データなし
自然発火点	引火せず
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	7～9
	データなし

溶解度
n-オクタノール／水分配
係数
蒸気圧
密度及び／又は相対密度
相対ガス密度
粒子特性

データなし
データなし

データなし
1.55
データなし
データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
化学的安定性

情報なし
法規性に従った保管および取扱いにおいては安定と
考えられる。
通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
情報なし
情報なし
このものは燃えないが、塗膜が燃えた場合はCOなど
の有害性ガスが発生する恐れがある。

危険有害反応可能性
避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

11. 有害性情報

急性毒性

経口

急性毒性推定値が5000mg/kgのため区分5とした。
JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に
該当しないに変更。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているた
め、区分に該当しないから分類できないに変更。
急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当し
ないとした。

経皮

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているた
め、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含
有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているた
め、区分に該当しないから分類できないに変更。
データ不足のため分類できない。

吸入

(気体)
GHS定義による気体ではない。
(蒸気)
データ不足のため分類できない。
(粉じん・ミスト)
急性毒性推定値が12.5mg/l超のため区分に該当しな
いとした。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性
呼吸器感作性
皮膚感作性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているた
め、区分に該当しないから分類できないに変更。
データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含
有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているた
め、区分に該当しないから分類できないに変更。
データ不足のため分類できない。
データ不足のため分類できない。
データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性

データ不足のため分類できない。
(生殖毒性・授乳影響)
データ不足のため分類できない。
データ不足のため分類できない。
区分1(呼吸器)の成分が20%のため、区分1(呼吸器)と
した。

特定標的臓器毒性(単回
ばく露)
特定標的臓器毒性(反復
ばく露)

誤えん有害性

動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報
水生環境有害性 短期
(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分
合計が0%のため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しな
いから分類できないに変更。

水生環境有害性 長期
(慢性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分
合計が0%のため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しな
いから分類できないに変更。

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壤中の移動性
オゾン層への有害性

データなし

データなし

データなし

データなし

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄
物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理する。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水
溝へそのまま流さないこと。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物につい
ても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関
係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準
に従うこと。

汚染容器及び包装

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処
理をする。

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意
取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、
荷崩れ防止を確実にすること。

国際規制

海上規制情報
UN No.
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to
MARPOL 73/78,
Annex II, the IBC
Code

該当しない
該当しない
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
UN No.
陸上規制

該当しない
該当しない
消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は
法令の輸送について定めるところに従うこと。

海上規制情報
国連番号
海洋汚染物質

該当しない
該当しない
非該当

	MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
	航空規制情報	該当しない
特別の安全対策	国連番号	該当しない 取扱い及び保管上の注意の記載事項に従うこと。 容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

15. 適用法令
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

毒物及び劇物取締法
 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
 消防法
 海洋汚染防止法

酸化チタン(IV)(政令番号:191)(10%-20%)
 非該当
 非該当

外国為替及び外国貿易法
 じん肺法

非危険物
 有害でない物質(施行令別表第1の2)
 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
 輸出貿易管理令別表第1の16の項
 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

16. その他の情報
参考文献

製造元メーカー提供資料
 NITE GHS分類結果一覧
 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法
 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス
 日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。